

拝啓 清秋の候 会員様におかれましては ますますご清栄のこととお喜び申し上げます

9月22日の西部本部品評大会では皆様にご協力頂き心より御礼申し上げます。

お陰様で素晴らしい品評会を終える事が出来ました。

今回の品評会は来年の日蘭の予行練習にもなり、私としても非常に勉強になる大会となりました。

そこで、来年に向けて気になる点がいくつかありました。

ベテランの方にとっては 当たり前の様に思われるかもしれませんが、

そこは新米の本部長として再確認と言う意味で聞いて頂ければ幸いです。

役員

- 魚係や審査員などの役が無い人は定期的に会場、審査場などを見渡し気づいた所は即座に対処する（その時は必ず腕章をつける）
たとえば、無断で審査場に侵入、撮影の邪魔をする人、洗面器に上がるときに魚係の邪魔になる人、の注意。
洗面器に魚が上がり開放するときのコーンやバーの撤去等
- 魚の撤収時は魚係の補助をし、混乱を緩和する。（特に割り込み侵入の阻止等）

審査長

- 審査長は審査前に審査場を見渡し気になる事は審査員、魚係に説明する。
- 審査員が審査長の質問以外に会話や評価を発言した場合は、直ちに注意する。

審査員

- 審査員は審査規定を把握し、自分の好みで点数を入れたり知り合いの魚に加点をしない。
- 審査員は話をせず点数を出す、但し審査長の質問には簡潔に答える。
- 撤収時は必要な場合 審査員も手伝う（腕章は必ずつける）

魚係長

- 審査中は魚係の行動を把握し、良くない行動の魚係には即座に注意する。
- 魚受付時と撤収時は的確に魚係に指示をし、混乱を避ける。

魚係

- 魚に細心の注意をし、傷をつけない様に努力する（前日に爪を切る等）
- 格付けが終わり洗面器に持って行く時は、話をしたり魚を眺めたりせず速やかに運ぶ。
- 撤収時は2人1組で持ち帰る魚をチェックする。

- 大勢の人が魚だまりに入らない様に制限する。
- バケツの魚をむやみに触らない
- 展示中は必ず2人は魚だまりに残り、出品者が勝手に魚を持ち出さないか気を付ける。
- 魚係は審査長の指示なしに魚を選んで審査場にだしてはならない。

【会員の皆様へのお願い】

- 品評会をスムーズに進める為に入賞した方は
本部へ提出する番付用紙に必ず**コード番号**を記入してください。
- 役魚に入選された方は出来るだけ早く役魚料（写真代）をお支払いください。
- 撤収時には魚係の指示に従い間違いのない様にお持ち帰りください。
- 審査場内に無断で入らない。

※ 遠方からも来られていますので、出来るだけ早く終われるようにご協力をお願いします。

西部本部長 西口武志

